

# 三条教区通信

## 第 48 号

発行日 2011年6月15日

発行者 三条教務所長 鷲尾 幸雄

発行所 真宗大谷派三条教務所  
〒955-0071 三条市本町 2-1-57

変更⇒ E-mail: [sanjo@higashihonganji.or.jp](mailto:sanjo@higashihonganji.or.jp)

URL: <http://www.gobosama.net>

★本通信は上記 URL からご覧いただけます。

### 今月の法語

〔法語カレンダーより〕

## 他力というは 如来の本願力なり

【教行信証行巻】

### 東北地方太平洋沖震災 救援と復興支援

去る5月21日本山において、先に三条教区災害対策委員会で決定されました救援金1000万円が、小林教区会議長から災害対策本部長の黒川参務に手渡されました。



「仏青有志の会」による救援ボランティアからの報告や連絡事項につきましては巻末コーナーに記載しております。

※宗派の被災者救援につきましては本山ホームページ(<http://www.higashihonganji.or.jp/>)に掲載されておりますので、是非ご覧ください。

### 研修会等ご案内

#### ■ 児童夏の集い

開催案内既送

- ◆ 日 時 2011年7月27日(水)～29日(金)
- ◆ 会 場 鷹ノ巣キャンプ場
- ◆ 内 容 今年の夏、友達と友達を探しに行こう
- ◆ 対 象 小学3年生～中学3年生
- ◆ 参加費 9,000円
- ◆ 締 切 7月11日
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:五辻)まで。  
〔主催:教化委員会青少年研修会部門〕

### 児童夏の集いスタッフ募集

三条教区では毎年、「三条教区児童夏の集い」を開催しています。

今年は、7月27日(水)～29日(金)、鷹の巣キャンプ場にて、2泊3日のキャンプを行います。普段と違う生活で輝く子ども達の眼が、スタッフにも「新しい発見」を連れてきてくれます。また、夏の集いには毎回、若手スタッフも多く参加し、スタッフ同士の交流の場ともなっています。

ご寺族・ご門徒関係なく、ぜひ、みなさまのご参加をお待ちしています。問い合わせは三条教務所担当(五辻)までお願いします。

### 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌

#### ■ わたしの御遠忌学習会

開催案内既送

- ◆ 日 時 2011年6月20日(月)13:30～17:00
- ◆ 会 場 三条別院本堂
- ◆ 講 師 佐々木道範氏  
(仙台区中組真行寺衆徒 仙台区仏青会長)
- ◆ 内 容 「東日本大震災を受けた今、私にとっての御遠忌とは何か。」

- ◆ 対象 教区内寺族・門徒、全ての有縁の方
- ◆ 受講料 500円
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:五辻、北島)まで。  
〔主催:御遠忌委員会教化伝道部会〕

### 御遠忌法要が勤まりました

第三期の御遠忌法要が勤められました。『真宗』『同朋新聞』に掲載予定のほか、宗派ホームページに掲載されておりますので、是非ご覧ください。



ほかにも多くのイベントやシーンがありました

2011年

御正当報恩講

11月21日～11月28日

### 井上雄彦氏作・屏風「親鸞」記念グッズ販売

震災の復興支援として標記グッズを制作してその全ての収益金を寄付し、震災復興に役立ててもらおうこととなりました。

#### 1 販売グッズ

- (1) ポストカード (左隻・右隻) 11.0cm  
\* 30.2cm 各¥200-/枚
- (2) ポスター (左隻・右隻) 37.5cm  
\* 103.0cm 各¥1,200-/枚
- (3) ポスター(専用額入:左隻・右隻)  
※額入のみ、東本願寺関係の販売所のみでの限定販売。通販は行いません各¥7,500-/枚
- (4) ミニ屏風「親鸞」 14.8cm  
\* 41.1cm (半双) 左右セット¥3,600-
- (5) 屏風「親鸞」レプリカ (シリアルNo.付・限定生産)  
42.2cm\*110.7cm 右隻・左隻セット¥75,000-

#### 2 販売場所・販売期間

- (1) 通信販売 (2012年3月31日まで) 通信販売は(株)フラワー (<http://www.flow-er.co.jp/>) で行う予定です。

- 3 被災者支援 本グッズの収益金全てを日本赤十字社に寄付し、「東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)」被災者支援に役立てていただきます。

## 教化委員会からのお知らせ

### 三条教区教化研修テーマについて

教化委員会企画委員会において、これまでの教区教化研修テーマ「共にといえる 人生を生きよう」について、教化委員会任期満了までの間、継続する運びとなりました。

教区教化委員会を中心に、このテーマについて考察を重ねて、次の教化委員会へ引き継ぐべく、【「共にといえる、人生を生きよう」に憶う】と題して、順番に執筆、毎月『教区通信』に掲載いたします。

第32回目は、研修部会委員の渡邊智龍氏です。

\*\*\*\*\*

### 「共にといえる、人生を生きよう」に憶う

第18組 恩長寺 住職 渡邊智龍

この文章を書くにあたり、何回か下書きをしました。

下書きの内容は、「御遠忌」「大震災」を題材として書いていましたが何枚か書いているうちにいろいろ気付かされました、

「御遠忌」に対しましても宗門への批判、「大震災」でも宗門批判しか文面に表れませんでした。

なぜ私の文章には宗門批判しか表せないのだろうか?なぜ私の思いには宗門批判しか現れないのだろうか?勿論其処には私だけの目線や私だけの感情がありますのでつつい批判が出てしまいます。

「御遠忌」では莊嚴の事や一期法要は支援者の集いだが、二期三期は勤めると曖昧な法要、「大震災」では対応の遅さ、状況判断の悪さ等、

いくらでも批判が湧いて出てきます。

しかしこれらの考えは私の思い通りにしたいと言う自我の欲望です、勿論その欲望が私自身の原動力になっているのでとても大切なのですが、娑婆事ではかありませぬ、この様な感じで何回も同じような文章を考えているある日の月経(つきぎょう)にて二首の和讃に目が行きました。

男女貴賤ことごとく 弥陀の名号称するに  
行住坐臥もえらばれず 時処諸縁もさわりなし

煩悩にまなこさえられて 摂取の光明みざれども  
大悲ものうきことなくて つねにわが身をてらすなり

高僧和讃

今の私に呼びかけてくれている和讃だと感じました、勝手な私の解釈ですが、

「御遠忌」行住坐臥もえらばれず。

「大震災」つねにわが身をてらすなり。

とても勇気の湧く御和讃に気付かせて頂きました。

主体である私の御遠忌、私の大震災と受け止めていける御恩徳、阿弥陀が私となって改めて和讃に触れさせて頂きました。

※次回は研修部会委員の井上知法氏(第13組願性寺)よりご執筆いただきます。

## 教務所からのお知らせ

### ◎教務所クールビズのお知らせ

このたび、6月1日から節電のため宗務所・教務所においてクールビズにさせていただきます運びとなりました。併せて、冷房温度も原則として28℃以上といたしておりますので、お知らせいたします。なお、肌寒い日につきましては、この限りではありません。

記

期間 2011年6月1日から9月30日まで

### ◎同朋の会結成届けについて

寺院・教会や地域などで同朋の会が結成されましたら、結成届を教務所にご提出ください。届出の提出されました同朋の会には、「同朋の会提灯」や「同朋の会奉仕上山旗」が無償で贈呈されます。

(贈与は1回。提灯や上山旗には申請されました会の名称が入ります)また、「同朋会員結婚記念念珠」が無償で贈られます。詳しくは教務所(森・北島まで)

### ◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

#### ラジオ放送「東本願寺の時間」

○テーマ 「今、いのちがあなたを生きている」

○講師 (事情により変わる事があります)

☆5/15～6/25 海 法隆 氏(東京教区)

☆6/26～8/6 福嶋龍徳 氏(熊本教区)

○放送局 新潟放送(BSN)

\*新潟県全県をカバー

・小出エリア 1026KHz

・中越エリア 1062KHz

・下越エリア 1116KHz

・塩沢エリア 1485KHz

・上越エリア 1530KHz

○時間 毎週金曜日 5:00～5:10

○提供 吉運堂様

宗門が1951年11月よりラジオ伝道として取り組んできている「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きになれます。

また、現在は、宗祖の御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」を番組テーマとして様々な方より法話をいたしておりますが、現在、宗派のホームページである「しんらんしょうにんホームページ」

(<http://higashihonganji.jp/index.html>)にて、これまで放送された番組をお聴きいただくことができます。

是非、ご聴取ください。

### ◎ 教区他 主な行事予定一覧(6月13日現在)

日程は変更となる場合があります。諸行事の重複等を避けるうで参考になるよう、なるべく把握している行事は掲載しております。

日	時	行事内容
2011年		
6月		
6/14	15:00	児連

6/15	14:00	夏の集い会議 14:00 教区御遠忌委法要団参教化部会
6/16	14:00	センター 教化委社会広報部会 新潟親鸞学会公開講座
6/17	14:00	同朋の会教導会 教区御遠忌委教化伝道部会 教区御遠忌委同朋会運動推進部会 15組有縁会
6/18		真宗学院 新潟地区公開講座
6/20	13:30	私の御遠忌学習会
6/21	14:00	教区御遠忌委常任委員会
6/22	15:00	声明会議 ～23日夏の集い下見
	13:30	推進員会議
	16:00	推進員教習会議
6/23	14:00	教区御遠忌委員会全体会
6/24	14:00	教化委研修部会
6/25		真宗学院 佐渡組公開講座
6/26		長岡公開講座
6/27	13:30	女性研修会議
6/29	14:00	同朋会教導総会
	13:30	「いのち・愛・人権」展結成総会
6/30	14:00	教区教化委員会全体会 教区教化委員・教区坊守会役員・教区御遠忌委員(所長選定)任期満了
5/31	15:00	夏の集い全体会議
<b>7月以降の予定</b>		
7/2		真宗学院
7/9		真宗学院 19組推進員養成講座 16組聞法の集い
7/14		真宗学院同窓会総会
7/15		15組有縁会
7/16		真宗学院
7/18		15組推進員総会
7/23		真宗学院 前期試験
7/27		～29日 第49回児童夏の集い
8/20		真宗学院
8/21		真宗学院特別講義
8/24		16組教化委員会
8/27		真宗学院
9/3		真宗学院
9/13		～19日 真宗学院前期教師修練
9/9		16組声明講習会
9/10		19組推進員養成講座
9/13		～19日 真宗学院前期教師修練
9/24		真宗学院
9/29	13:00	16組坊守会学習会
9/30		査察委員任期満了
10/1		真宗学院
10/8		真宗学院

		19組推進員養成講座
10/15		真宗学院
10/22		真宗学院
10/29		真宗学院
11/5		～8日 三条別院報恩講 真宗学院生参拝
11/12		真宗学院
11/19		真宗学院 19組推進員養成講座
11/21		～28日 日本山御正當報恩講
11/26		真宗学院
12/2		～4日 19組養成講座後期上山
12/3		真宗学院
12/9	13:00	16組坊守会学習会
12/10		真宗学院
12/17		真宗学院学年末試験
12/31	11:45	大晦日 三条別院除夜の鐘
<b>2012年 同朋会運動50周年</b>		
1/1	00:00	三条別院修正会
2/25		～26日 真宗学院一泊研修会
3/31		教区門徒会員・教区監事(常任委員 会選出)任期満了
4/30		参議会議員任期満了

## 駐在教導のつがやき

～森之篇～

さる西暦2011年皐月下旬のころかと、

午前4時30分起床 京都はまだ薄暗いが、このところすっかり早起きになってしまった感がある。まあ7時過ぎからしっかりと動き回するにはこのくらい早く起きて体を動かし始めた方が良いでしょう、甲子園での高校野球第一試合に備えるように。

◆ここは西本願寺聞法会館、6時の晨朝のお勤めに参るため宿泊している人たちも5時頃には動き始め何となく館内がザワザワしている。

6時半、体がしっかりと温まったころ、わが真宗本廟へ出発、おっとその前に今日も部屋が変わるため、荷物を全て持ってロビーの受付に預けないと(これで聞法会館に来て毎日部屋が変わる、そのためトランク2個を携えいちいち受付に預けるのはちょっと面倒とブツブツ)

◇10分あまりで真宗本廟のスタッフルームに到着、出入り口の戸を開けると目の前のテーブルに広がるコンビニのおにぎり、あんパンやピザパンそしてお茶・ジュース。指示通り任意に2つを組み合わせそれに飲み物を加え、席に着き朝食となる。(野菜不足は否めないが贅沢は言うまい、こんど野菜ジュース買ってこよう)

◆間もなく7時半、昨日の夕方開かれたスタッフ全体ミーティングで電通スタッフよりしっかりと手渡された、今日担当する御日中法要の参拝団体の資料

を懐に、そして右手には団体の名が記されたプラカードを持ちいざ出陣、「オット張り切りすぎて、記念品を受け付けて貰うのを忘れていた。」

◇まずは、いかに安全に且つスムーズに、そして引率責任者の方々の希望を最大限受け入れながら、御影堂の法要の席まで、拝礼を済ませてたどり着くための、いくつかのパターンを持ちながらバスの到着場所へ。(御遠忌法要の期間のためだけに設けられた施設などもあり法要にあってもらうのは勿論、そのほか全てのモノに触れてもらいたい…ナンテ、欲張ったことなど考えながらも、いろいろなマイナス条件が加算されて、動ける範囲は徐々に減算されていく…)

…さらにこれで途中から雨など降ろうモノなら、御遠忌本部から携帯に集合場所変更のメールなどなど、各種指示が逐一発信され、それに随時対応していくことになるが、今日は晴れ、問題が1つ無くなることでまずはホッ…

◆バスの到着場所から白州内までは主に電通スタッフと連携を取りながら、白州から御影堂内へは電通スタッフとさらに堂内担当本山スタッフと連携を取りながら(というか、まあ指示を受けながら。しかしそこにはこちらの多少の強引さも入れてねじ込むことも忘れずに)無事に皆さんが席に着き、法要がスタートすれば取り敢えず一安心。御影堂の増床部分の一般席にて法要の末席に加わる。されど途中で席を離れ、10時過ぎに早めの昼食(実際この時間を逃すと昼食の時間が確保できないこともありなもので)

◇今日の団参の皆さんは法要後、本山にて御遠忌弁当を食し、素屋根を見学し岡崎方面に移動して京都市立美術館で親鸞展へ、バスに同行させてもらい、みやこめっせから親鸞展へ、みやこめっせに着くと、メッセ常駐の本山スタッフより早速に市立美術館の混み具合やら、昨日行方不明者が出て、搜索したことなど大変だったことなど告げられ注意を促される、それとなく団参の方々には、申し訳ないけれど人数確認の回数を増やすことを頭にインプット。(市立美術館に誘導するも早い人は10分程で外へ、ゆっくり見学する人は40~50分。美術館の外でプラカードを持ってジッと待つのは結構辛いです)

◆みやこめっせ3階でのお買い物も終わり、最後の集合・人数確認をしてバスへ、無事つぎの旅程へ向かうこととなり、めっせ駐車場でお見送り、ホッとしながらもお疲れ様でしたとバスの窓に見える顔々に。そして皆さんに向かって手を振り送り出す。

◇時計を見ると午後4時過ぎ、本山に臨時市バス750系統に乗り向かう、御影堂前にてお逮夜参拝された方々のお見送り。5時半過ぎからは誘導スタッ

フミーティング、新たな団参の資料を受け取り、さあ準備。6時半には本山を後に、帰途につく聞法会館に向かってトボトボ歩き始める。

■参拝の方々に時々「そのスタッフジャンパーいいな、どこで売ってるの?」と尋ねられたり。また、三条教区の方々や以前いた教区の方々からは、ニコニコしながら、ご苦労様と声をかけられたり(実はこちらもホッとさせていただいたひとときでした)そのほかまあいろいろありました。

□本山のホームページの中から、境内北側に設置してあるライブカメラを見てみると、御影堂側面のスロープは既に撤去され、増床部分も手が入っているような…

もう随分と時間が経ってしまったような感じですが、まだ、2週間も経っていないんですね、なにかあつという間に駆け抜けてしまったようです。

★書き始めたら止まらなくなりました。ここまでお読みいただき有り難うございます。それでは最後(いや、最初に)さあこれからすべてが、また始まり(?)となりますよね。

## 所員のささやき ~五辻之篇~

「思いは見えないけれど、思いやりは誰にでも見える(エーシー)」

2011年5月28日(土)、「東北地方太平洋沖地震災害『被災者支援』宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要」が終わった。

このたびの御遠忌は、改めて自然の脅威を知らされると同時に、無力な自分を実感する機会となった。「被災者支援」の御遠忌法要。「御遠忌」ということと、「支援」ということ。それがなかなか結びつかず、自分の中で葛藤しながら御遠忌をお迎えした。そして、葛藤しながら終わった。

冒頭の「思いは見えないけれど、思いやりは誰にでも見える」とはテレビで飽きるぐらい流れた某CM。これは、誰もがもっている「やさしい気持ち」が「あたたかい行為」となって世の中に生まれてほしいという願いのもと制作されたらしい。いいCMだと思います。

宗派声明にあるように、「何もできない私だけれど…という自覚に立ち、だからこそ、せすにおれないこととして立ち上がり救援活動に取り組む。」ということ。

これが「思いやり」であり「あたたかい行為」だと言われると、自分の中で何か違和感がある。僕の中にある「人を思いやる心」とは何なのだろうか。今も分からないまま動いてる。もっと単純に考えればいいんだろうけど、

なかなかそうはいかない。どこかにダークな自分があるんだと思う。ただ、もっと素直になりたい。

あと、冒頭の言葉から、「思いは見えない」とあるけど、僕はこの御遠忌法要にて、なんとなく「思い」が見えたような気がしました。「思い(願い)」が「かたち」となったのが真宗本廟であり、そこに集った延べ 500,000 人の参拝者と全国のご門徒の「思い」が法要をかたちづかったのは確かだ。様々な「思い」が時と場所を越えて真宗本廟に集い、様々な「思い」が宗祖とご対面されたことではないだろうか。

真宗本廟に参拝して感じたことは、「思いやり」も「思い」も見えるということ。少なくとも僕はそう感じました。確実に「思い」と「思い」が出会った御遠忌だった。そして、その出会いに出会う。そのそれこそが「真のつながり」の証明ではないだろうか。

さて、来年は同朋会運動 50 周年の年を迎える。改めて、何が同朋会運動なのか問われる。

はたして、御遠忌法要が終わった今、「このたびの御遠忌は『同朋社会の顕現』への確実な一歩となった。」と、胸を張って言えるだろうか。

総括と展望って何だろう。まずは、忙しい年度末&年度始に襲われます。がんばります。

## 新潟親鸞学会からのお知らせ

### 第8回大会 公開講演のご案内

- 1.日時 2011年(平成23年)6月16日(木曜)  
14:00~15:30
- 2.会場 廣圓寺(真宗大谷派)  
〒959-1352 加茂市上町11-6  
TEL 0256-52-0129・FAX 0256-52-0161
- 3.講題 「親鸞聖人伝の史実と伝承」
- 4.講師 草野頭之(くさのけんし)先生  
大谷大学学長。1952年福岡県生まれ。専門は日本仏教史(中世)・真宗史。著書『親鸞の伝記—『御伝鈔』の世界』(筑摩書房、2010年)、『真宗教団の地域と歴史』(清文堂、2010年)、『戦国期本願寺教団史の研究』(法蔵館、2004年)、『信の念仏者親鸞』(吉川弘文館、2004年)、『蓮如大系第四巻 蓮如と本願寺教団(下)』(法蔵館、1996年)
- 5.聴講料 会員は無料。会員外は資料代¥500-

#### 【お知らせ】

「親鸞となむの大地—越後と佐渡の精神的風土—」展

2014(平成26年)4月26日(土)~6月8日(日)開催予定。新潟親鸞学会では、宗祖親鸞聖人750回ご遠忌記念行事として、関係各教団・新潟日報社の協力を得て、上記期日に新潟県立歴史博物館を会場として企画展を開催の予定です。

#### 【入会申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局/超願寺内(〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 ☎025-222-2820

新潟親鸞学会デスク :

<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>

## 有志の会ボランティアのコーナー

有志の会からの活動報告とお願いです。

5月11日~13日 12日・13日南三陸町では東京教区と合流して、南三陸町の歌津中学校避難所へ向かい、炊き出し。

5月18日~20日 東京教区と19日宮城県亶理町立逢隈(おおくま)小学校で炊き出しと紙芝居(三条:鳴澤)&レク(東京:児連)、20日は亶理町立吉田小学校で炊き出し

6月7日(火)~9日(木) 8日より本日まで2名の方々が被災地仙台市若林区六郷中学校避難所で東京教区のみなさんと炊き出し。9日東京教区と復興支援センター物資仕分け作業

6月12日 三条別院フォーラムにて支援物資の募集

6月14日 仙台仏青のみなさんと石巻方面避難所にて支援活動(炊き出し、バザー)の予定です。

また、下記三つの日程で東京教区のみなさんと支援活動にご参加いただける方がいらっしゃいましたら、有志の会までご連絡ください。

6月20~22日/6月27~29日/7月5~7日  
よろしくお願いいたします。

※すでにご存じのかたもたくさんおられると思いますが、東日本大震災関連の大谷派の支援団体のホームページを紹介します。

#### ①仙台仏青

<http://namaste.digick.jp/>と

<http://namaste.digick.jp/>

#### ②東京教区茨城1組の有志の方々

<http://ibaraki1kumi.blog.fc2.com/>

ときどき覗いてみてください。

※メール配信をご希望の方は・・・

「[shinsho@nct9.ne.jp](mailto:shinsho@nct9.ne.jp)」

(三条仏青有志会連絡係 藤井信彰(14組長楽寺)までご連絡ください。